

CHAPTER_03

UTILYZING CYBER-PHISICAL

「Society5.0」に関して、IoT やデジタルツインなど
サイバーフィジカルを活用することについて



飯野： うちはどうしても工場とか物流よりの発想となっ
てしまっていますが、自動車産業自体データってまずオー
プンにしないんですよね。データもオープンにしなければ、
設備の内容などもオープンにしない。それって彼らのノ
ウハウの部分なので当然と言えば当然ですが。しかし前
述した「industry4.0」という波が来ているのにもかかわ
らず、ドイツ大手自動車メーカーなどに実際にヒアリン
グすると、そこですらデータを外に出していない。少なく
とも3-4年前では出していなかったの今はわからない
のですが、工場はなんだかんだ言ってクローズドの世界
だと感じています。

渋谷： うんうん、そうですね。

飯野： 例えば、大手食品会社でも、WEB 会議で品質の
内容を喋ることは許されず、「本当に大丈夫か」という声
が幾度も上がるくらい慎重なんです。そんな状況を考え
ると、なかなか外に向かったデータのオープン化は進ま
ないですよ。でも経産省が掲げているこれからの目標
である「DX（デジタルトランスフォーメーション）」に向
かおうとすると、やっぱり製造まで繋がらないと意味が
無いと考えています。表面上のサービスがよくなっても、
それをモノとして提供するということまできちんと繋が
っていくべきですよ。ただ、まだなかなか難しいなっ
ていうと

るがあり、そのプレイヤーがいないという印象がありますけどね…。

渋谷： ああ、そうですか。

飯野： はい、やっとインターネット最大手企業がやろうとしてきている、という感じのもので、ほとんどできていないですよ。製造業ではただ工場内のデータを貯めるだけのプラットフォームは提供されているのですが、製造業の上の階層を繋ぐものはまだ全然出来ていません。本当はもっとオープンにしていければ良いのですが。やはりまだ工場の中だけでサイバーフィジカル空間を作っていく、ことが非常に多い印象です。ですが、最終的なデジタルイゼーションという意味合いでは、営業・マーケティングから保守のところまでデータを繋いで、活用していけるようになっていったらと良いと考えています。

渋谷： 今の文脈で言うと、例えば自動車への OBD データなどもよく似た状況にあるように感じました。まだまだクローズドなメーカーの姿勢に対して、OBD 車検もそうですが、より価値あるものにオープンにしていこうとする流れもあります。私たちも自整業と一緒に特定 DTC 含めて、データを用いたモデルを構築中なんです。

飯野： ほ～それはすごいですね。

渋谷： そうなんです。かなり思い切った策ですよ。ただ、その背景としては、彼らはメーカー系列関係なくどこの車でも車検するので、ということなんです。だから徐々に解放されてはいくのだろうな、と考えています。日本だけです。アフターマーケットの世界で OBD のデータを解放しきれてないのは、海外行くと結構解放されていますから。もしかしたら、こういったあたりから解放に向かえば、ものづくりの現場にも何らかの影響が出始めるのかもしれないですね。

飯野： そうですね。良くも悪くも日本の製造業には、他国より圧倒的に IT のシステムやルールやセキュリティが導入構築されていて、しかも社内規定だとそれはもっと早い段階で作られているんです。するとどうなるかというと、最初に作った従業員は皆次々と辞めていなくなるわけです。それからクラウドシステムを構築してデータを外に出そうという時には、判断できる人がいないんです。「出して良い」ということを誰も許可ができないし、最初のルールに当てはめたらダメなわけですし、ルールでダメだということを誰が自分の責任でやるかと言うと…これ、結構大変です。それこそ最大手の自動車メーカーの社長のような変革者が先陣を切って主導しない限りは、もう無理なんです。

渋谷： そうですね。

飯野： まだシンボリックな社長がいる会社は良いですけど、他の Tier1 に行くと誰も責任取らない社長ばかりで、4-5 年の任期を終えたらどンドンいなくなってしまうので、この状況は結構辛いなと感じています。だから日本が世界から見て「圧倒的に」遅れているのは、そこに集約されてしまうんですよ。

渋谷： 「圧倒的に」遅れている、と。

飯野： 「圧倒的に」遅れていますね。もう全然ですね。もう工場内の IoT 化というともう…圧倒的に遅れています。中国なんかを見てみますと、そういうルールや社内規定が会社に無いので、初めから良いように作ってしまうんです。

渋谷： 最初から一足飛び、一番効率的で現実的なシステムを入れてしまうということですね。

飯野： それで物流なんか全部抜かれてしまいましたよね、中国に。

渋谷： 国内の話で言うと、ディーラーはまだ良いですが、修理工場はもうやはり生き死にの問題に関わってくるわけですよ。

飯野： そうですよ。

渋谷： それを何とかするためにということで、先程お話しした取り組みを行なっています。舵取り役の会社さんもものすごい気持ちが入っていて、「今これがうまくいかなかったら、自動車整備工場は10年20年経ったら全部滅び

る」という意気込みなので、僕としても「何が何でもやらない」と思っています。「デジタル化」「データ化」を自整業にも広げていくということですね。

飯野： 良い取り組みですね。極端な話、もし今やらなければインターネット最大手とかが自動車整備工場をやり始める可能性があって、そうなった時には誰もひっくり返せなくなってしまう。だから本当に良い取り組みだと思いません。



CONTACT お問い合わせ

株式会社スマートバリュー (<https://www.smartvalue.ad.jp/>)

〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町三丁目 6 番 1 号 京阪神御堂筋ビル 7 階

広報担当： 社長室 Division

E-mail: info@g.smartvalue.ad.jp

株式会社オフィスエフエイ・コム (<https://www.office-fa.com/>)

〒105-0004 東京都港区新橋 5 丁目 35 番 10 号新橋アネックス 2F

広報担当： 武田

E-mail: contact@fa-regalo.com

オフィスエフエイ・コム公式 SNS アカウントをフォローで最新情報をお届け致します！

公式 HP



オウンドメディア



 Facebook



 Twitter



 Instagram





**FACTORY
AND
CITY**